

### 決算審査特別委員会の審査概要

9月定例会に提案された平成17年度各会計の決算は、決算審査特別委員会に付託され、議会閉会中に、現地視察を含め、3日間にわたって審査を行いました。12月定例会初日に委員会審査の概要が報告され、2名からそれぞれ反対討論がありました。いずれも認定と決しました。

決算審査特別委員会における質疑応答の一部は次のとおりです。

#### 一般会計・各特別会計決算

**問** 市民税の納税者の状況、収入未済となった理由は？

**答** 個人市民税の納税者数は4万6千629人で平均所得額は27万6千283円。法人市民税の納税企業数は2千640社である。

収入未済となった主たる理由は、個人分では納税意識の低さや事業不振・倒産・破産など、法人分では事業不振や倒産などである。

**問** 高齢者交通安全アドバイザーの取り組みは、県内はもとより全国でも大変珍しく、行政が積極的に取り組むことを、高く評価するが、どのような実績があったのか。

**答** この事業は高齢者の交通事故防止のため、市内の高齢

者宅を訪問して、安全対策・指導・資料の配布等を行ったものである。対象者は70歳から89歳の高齢者世帯で、1万5千264世帯を対象に実施している。アドバイザーの訪問実績は、83日・1千580人で、2年間で全世帯を訪問したい。

**問** 心身障害者に対して、どの程度の公費補助を実施しているのか？

**答** 心身障害者に対しては、医療関係と福祉関係の扶助がある。医療に係る費用は、該当者が約3千300人で、総額5億円余りの扶助をしている。福祉に係る費用は、居宅・入所を含めてサービス利用者は約1千600人で、年間一人当たり約62万8千円である。

**問** 生ごみ処理機の必要性と、合併後の生ごみの全体量の状況や、生ごみの堆肥化についての考えは？

**答** 一般のごみステーションで実施した抜き取り調査では、生ごみは全体の約半分を占めている。家庭用生ごみ処理機は設置が伸び悩んでいるのが現状であるが、生ごみ処理機械等設置事業費補助金によって各家庭での堆肥化を推進していきたい。また、全体的な生ごみの堆肥化は、堆肥の需要が少ないことや堆肥の質などの問題があり、最も難しい方法であると考えている。

**問** 丹原町商店連盟補助金とがんばる商店街支援事業費補助金の成果はどうか？

**答** 丹原町商店連盟補助金は、七夕まつりなどの事業を行う商店街組織のものに対する運営上の補助であり、非常に期待され頼りにされている。

がんばる商店街支援事業費補助金は、西条中央商店街振興組合が実施した休憩交流スペース設置事業に対する補助金であり、休憩用のテーブルと椅子・テレビ・自動販売機等を設置し、買物客の休憩や交流の場やカラオケ大会等のイベント会場として、かなりの利用がなされている。

**問** 消防力の整備状況や救急業務体制は？

**答** 現在の消防職員数134名に対し、国の「消防力の整備指針」に基づく算定値は172名で、充足率は77.9パーセントとなる。市民の生命・身体及び財産を守るため、今後も消防団を含めた総合的な消防力の充実強化を図りたい。

救急業務については、高規格救急車4台(平成19年1月下旬以降は5台・普通救急車3台での運用体制をとっており、平成17年中の出動件数は3千996件で、1日当たりの出動件数は10.9件となっている。さらに、救急救命士として17年度に新たに1名が資格を取得し、現在までに20名の資格者を確保している。各高規格救急車に2名の救急救命士を搭乗させるべく、最終的に24名の養成を目指している。

**問** 市の財産であるひうち会館を減額貸付している現状をどのように考えているのか。また、これを解消する考えはないのか。

**答** ひうち会館は市の便益施設として建設したもので、高い公共性があることから、減額貸付をして利用に供している。基本的に施設諸経費すべてを貸付先の自社努力でお願いすることになり、かなりの負担を強いることになるため、現在のところこれを変更する考えはない。

**水道事業会計決算**

**問** 水道料金について、決算意見書では、合併時の公約に基づいて考えて欲しい旨の意見が示されているが、今後の水道料金の方向は？

**答** 水道料金は、合併までに調整がつかず、新市移行後、当分の間は現行のとおりとし、随時調整することとして合併に至った。「サービスは高く、負担は軽く」が理想ではあるが、独立採算制であるため、それが容易ではない。料金格差については、住民負担の公平性からも統一すべきと考えているものの、一気に統一するには格差が2倍近くあるため困難である。今年度、西条地区の料金改定に関する審議会を設置し、審議過程にあるが、平成22年度の統一を想定して検討を続けたい。

**病院事業会計決算**

**問** 精神科病棟に関係する職員数は？

**答** 看護部での精神科の勤務者数については、看護師は正規看護士・準看護士・看護助手及び臨時職員の総数で65名となっている。また、そのうち、正規職員は49名・臨時職員は16名である。



にぎわう丹原七夕まつり